

# RemORI MONTHLY /

2024年3&4月号  
りもり vol.20  
IN ゆすはら

林業情報を発信！  
りもりマンスリー

## 三嶋の森林プロジェクト始動！

荒木 俊充 | p.02

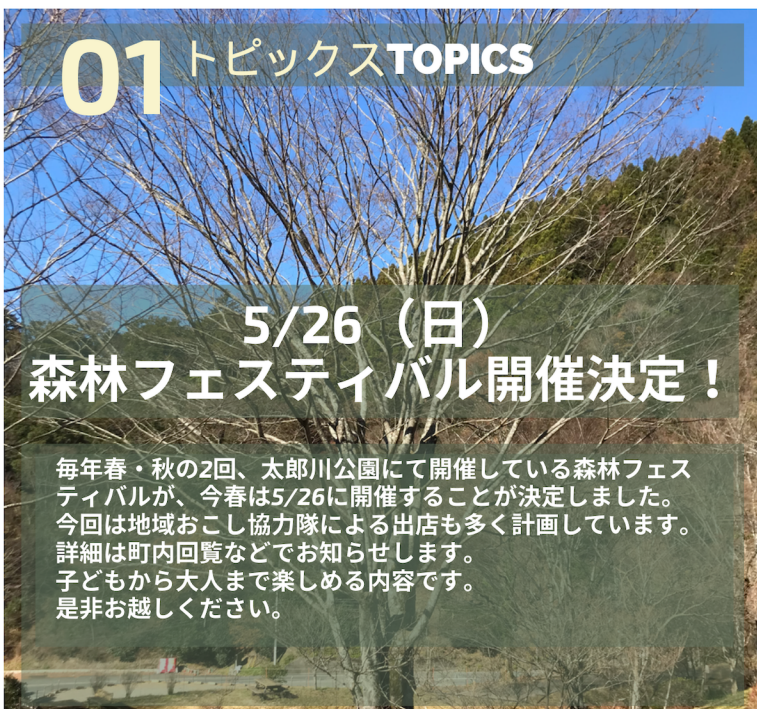
## 四国部品 町内3.3ヘクタール造林完了

笹岡 高志 | p.03

## 会員事業体紹介 梶原運送

笹岡 高志 | p.04

### 01 トピックス TOPICS



## 5/26 (日) 森林フェスティバル開催決定！

毎年春・秋の2回、太郎川公園にて開催している森林フェスティバルが、今春は5/26に開催することが決定しました。今回は地域おこし協力隊による出店も多く計画しています。詳細は町内回覧などでお知らせします。子どもから大人まで楽しめる内容です。是非お越しください。

### 02 YouTube



## ゆすはら 地域おこし協力隊

梶原町森林再生プロジェクト  
「りもりチャンネル」

りもりの活動やイベント風景、協力隊のPR動画などを配信中！



### 森林と共に育つ



KIRecub-きりかぶ-チャンネル

新たに立ち上げました！活動風景やイベントの様子などを配信予定！



## 03 Instagram

### ゆすはら地域おこし協力隊

りもりメンバーが林業を通して梶原町の魅力を発信中！



下村智也



山口佑貴



長谷川夏輝



荒木俊充



吉井香在



Coming Soon

### KIRecub-きりかぶ-

造林事業をメインに立ち上げた組織「KIRecub (きりかぶ) 有限責任事業組合」です。林業がもっと面白く活気のある産業になるように様々な事業も展開していきます。



### ゆすはら森のおさんぽ会

梶原の豊かな自然を活かした、自主保育型「森のようちえん」活動。協力隊の荒木俊充が妻とともに、4歳と2歳の子もたちを連れ、町内各地で活動中。参加者随時募集中！0歳からどなたでも参加していただけます。一緒に自然を満喫しませんか？



### WOODNEIGHBORS-ウッドネイバーズ-

協力隊を卒業した角金玄が個人事業主として開業。ロープクライミングで樹上へアクセスし住宅や公共施設、神社仏閣などの樹木の伐採(剪定)を事業としています。



### Coming Soon

Coming Soon



# 三嶋の森林プロジェクト始動！

今年2月末、「三嶋の森林プロジェクト」の現場作業が始まりました。

東区三嶋神社の裏の人工林を地域おこし協力隊の研修林として提供いただき、伐倒搬出作業から再造林までの一貫施行を学ぶもので、また、伐採後は広葉樹を植樹して、自然の力で循環する森林に転換していくプロジェクトです。現在、その第一段階にあたる、伐採の作業を実施しています。

普段はReMORIを構成する各事業体の現場作業に加わせていただく形で林業に関する技術・技能や知識の修得に励む我々地域おこし協力隊のメンバーですが、このプロジェクトでは、川上製材所の川上博史さんご指導のもと、自分たちの現場作業を進める中で、技術や知識の向上に繋げるという形で進めています。

実際の作業は2月末の測量から始まりました。3月に入り現場で使うワイヤーを編むなど部材の準備を行い、土場になる場所や架線やその控え線が通る場所の伐木、ワイヤー張りと進んでいます。

林業の世界に飛び込んで3年未満の私たち主導で作業が進むほど甘いものではなく、博史さんをはじめ川上製材所・柴田運送の皆さんにリードしていただきながらの作業ではありますが、一つひとつの作業に関して、自分たちで主体的に考えて行動することをいつも以上に強く意識して作業にあたっています。そうすることで、作業を進める順番や伐木・集材・架線など一つひとつの作業が、物理法則や樹木の特性の理解、安全と効率の追求、地形などの制約に応じた柔軟性など、非常に多くの知識・経験・技術・技能の上に成り立っていることを改めて実感しています。

一朝一夕にはいきませんが、このような現場で多くの経験を積み、私たちも栲原町の森林づくりに貢献していきたいです。引き続きどうぞ温かくお見守りください。



初めての測量



チェーンソーを使った伐木作業



グラブを使った集材作業も

## 今回のREPORTER-リポーター-



### ゆすはら地域おこし協力隊 荒木 俊充 -Toshimitsu Araki-

2022年9月に愛知県から移住。  
家族は妻、息子2人（4歳・2歳）、ヤギ2頭。  
林業技術の修得の他、人と森林をつなぐ活動もしたく、昨年度よりゆすはら森のおさんぽ会を主催。  
今年度はグリーンウッドワーク（採れたばかりの乾いていない木を使った木工）を通して森林とのつながりを感じられるイベントを計画中です！

# 四国部品 岡・河添ペア 町内3.3ヘクタールの造林完了！

梶原町内にも製造所を構える四国部品（徳島県阿波市）は、自動車のワイヤーハーネスを基幹事業とする矢崎グループにありながら、ワイヤーハーネス事業の他に「介護事業」、「食品事業」などを手掛ける、グループ内でもユニークな企業です。さらには、矢崎総業とともに、ReMORIにもご支援頂くなど、町内外の森林づくりにも大きく貢献してきました。

そして、一昨年度より、町内で中堅社員2名による造林の仕事への挑戦が始まりました。一昨年度は森林組合OBの松山栄喜さんの指導で、初めて山に入り基本を学びました。昨年度は3.3畝の芹川国有林を森林組合と契約を交わして実践活動に移り、この2月末で立派な作業を完了しました。

現地在が皆伐後数年たった山だったので、林地整備をして5月から地拵えを開始。8月9月は防獣のネット張り。11月中旬から植え付けを始め、9900本の広葉樹の植栽を終えました。頑張った二人は四国部品高知工場（越知町）でワイヤーハーネスの製造に携わっていました。河添昭人さん（51歳）は田野々の町営住宅から、また岡良雄さん（51歳）は仁淀川町の自宅からの通勤で奮闘しました。随分ハチにも刺されたようです。

河添さんはこの一年を振り返って、「隣りにお住まいの西村さん（森林組合OB）が何かと気遣って下さり、仕事のアドバイスも頂いて嬉しかった」と。最近“林道探索”にはまっている岡さんは「いくつになっても、身体が動く限りは、山の仕事がしたい」と話します。今回のトライアルを支えたのが、森林組合の武田勇希さんでした。委託契約から作業手順、更に現場で一緒に汗を流すことも。有難く、感謝に堪えません。



河添さんは町内に住み込んで作業にあたる



“林道探索”にはまる岡さん

芹川の国有林を仕上げた後、二人の作業は上本村に移っています。民有林の初仕事です。厳しい余寒の中での作業ですが、山主さんの顔が見える仕事は一層嬉しく遣り甲斐もある。二人の顔は年毎に晴れやかなっていくようです。

昨年秋まで町役場に出向していた四国部品新領域事業部の氏原智之さん（ReMORI代表事務局長）は、新年度の予定として「4～6畝の造林に8畝の下刈り」を加える意向です。岡・河添コンビの仕事は更にハードルが高くなります。周辺の皆様、どうぞお声掛けを宜しくお願いいたします。

## 今回のREPORTER-リポーター-



梶原令和の森林づくり協議会「ReMORI」会長  
笹岡 高志 -Takashi Sasaoka-

高知市生まれの73歳。高知放送を退職後、週2回のペースで、梶原町を往復。8年が経過。梶原町産業担い手育成塾長（森林づくり）を経て、梶原令和の森林づくり協議会長。子ども3人、孫6人。拙宅は時々、孫たちで大賑わい。本日は静かです。

# 会員事業体紹介 その 会社の存続目指して林業参入！ 梶原運送

梶原運送の西村公平さん（35）が、山に入って5年が経過しました。二代目社長である父・裕さん（59）から「今後の会社をどうするや？」と問われた時、公平さんは「外（町外）へ出てもいい。」と返しました。「小さな運送業だけでは将来展望が開けない。」二代目社長はそう考えて問いかけ、「山をやろうや。親父（先代）もやりよった。」と決断を伝えたそうです。

当時の梶原運送は社長以下、働き手は8人。2人の事務員以外は全員運転手でした。息子の心配をよそに、ドライバーはみなハンドルをチェーンソーに持ち替えてくれました。林産の旗を掲げると、「（植林を）伐りたい、買ってほしい。」の声があちこちから掛かり、梶原運送の新しい展開が始まったと聞きました。

社長の掛け声は「全員で山に入る」でした。輸送業務の予定が入っている場合も、「早く終われば必ず現場に」と指示したそうです。不慣れな架線張りは“ゆうりん”の川上博史さんらのアドバイスを受けました。そして5年が経過し、林業の仕事量・収入が運送のものより多くなりました。伐採技術も徐々に上がり、最近になって親子の会話は「若い人の採用」に及んでいるようです。

事務所を訪ねた2月27日は、何と公平さんの誕生日でした。30代の山師は町内でも極めて少なく、貴重な存在と言えます。梶原運送でも山に入るメンバーはいずれも公平さんより年長ということもあり、会社の存続・発展のためにも早く若手の採用をしたいと考えているのでしょう。公平さんから、会社の存続・発展、運送と林業の両立にける意志を感じ、心強く思いました。



重機の扱いはお手のもの



重機同士の連携もバッチリ



梶原運送の現場作業の様子

## 今回のREPORTER-リポーター-



梶原令和の森林づくり協議会「ReMORI」会長  
笹岡 高志 -Takashi Sasaoka-

高知市生まれの73歳。高知放送を退職後、週2回のペースで、梶原町を往復。8年が経過。梶原町産業担い手育成塾長（森林づくり）を経て、梶原令和の森林づくり協議会長。子ども3人、孫6人。拙宅は時々、孫たちで大賑わい。本日は静かです。